

現在地以外の事業所の所在地及び事業所の種別、設立した年について

	都道府県名（海外）	市町村名	事業所種別（該当するものに ）	設立年月（西暦）
1			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
2			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
3			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
4			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
5			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
6			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
7			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
8			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
9			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年
10			本社 支店 営業所 工場 その他	西暦 年

調査対象となっている事業所を含めた上記事業所のうち、生産活動の中心事業所は、

1. 調査対象となっている事業所が生産活動の中心
2. 上記（ ）番に記入した事業所が生産活動の中心

担当者コード	担当者名
--------	------

承認印 A		承認印 B	
----------	--	----------	--

届出統計調査

平成15年6月16日総務省届出済

Code : _____

所在地 : _____ 区 _____

フリガナ

事業所名 : _____

**【京都市ものづくり産業調査票】**

- この調査は、統計法（昭和22年法律第18号）第8条に基づき総務大臣に届け出を行っている届出統計調査であります。
- 統計法により調査員をはじめ調査関係者は、調査票の記入内容を他に漏らしたり、統計以外の目的に使用することを固く禁じられています。
調査票の内容は、統計的に処理され申告者に不利益になることはありませんので、ありのままを記入して下さい。
- この調査は、市内ものづくり産業の実態を把握するとともに、企業者の皆さんの施策ニーズを把握することにより、今後の本市施策の策定資料とするために実施するものです。
- この調査は、原則として事業所単位の調査ですので、事業所単位で記入して下さい。
ただし、企業単位でお聞きしている項目については、企業全体について記入して下さい。
- この調査は、平成15年7月1日を基準日として、記入して下さい。
- 調査票の記入は、黒又は青のボールペンなどを用い、はっきりと記入して下さい。
- 調査票は、調査員が受け取りにうかがいますので、その際にお渡し下さい。

この調査に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

【調査実施：調査票の記入・回収に関するお問い合わせ】**京都市ものづくり産業調査事務局**

〒600-8009 京都市下京区四条通烏丸西入る 京都産業会館内

TEL : 075-253-0820 FAX : 075-253-0821

お問い合わせ担当：林 お問い合わせ時間 9:00～17:00（土日祝休）

【調査主管：調査主旨に関するお問い合わせ】**京都市役所産業観光局スーパーテクノシティ推進室**

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る本能寺前町 TEL : 075-222-3434 FAX : 072-222-3331

担当：

担当調査員

調査第 _____ チーム

氏名 _____

訪問日： _____ 月 _____ 日

回収日時： _____ 月 _____ 日

【 1 . 事業活動について 】

(1) 事業内容について、該当するものに をしてください。また内容等についても具体的にお書き下さい。

- 最終完成品製造の有無 1.有 2.無 有の場合、具体的製品名 ()
 自社ブランド製品の有無 1.有 2.無 有の場合、具体的ブランド名 ()
 有の場合、販売経路は(主なものをひとつ)
 a. 商社経由 b.営業部署による販売 c.ネット経由 d.系列販社 e.その他
 高シェア製品の有無 1.有 2.無 有の場合、具体的内容 ()
 (%程度の占有率でシェア第 位 / 国内)
 (%程度の占有率でシェア第 位 / 海外)
 自社独自技術の有無 1.有 2.無 有の場合、具体的内容 ()
 試作品受注の有無 1.有 2.無 3.希望あり
 特許出願の有無 1.有 2.無 (国内特許 件) (国際特許 件)

(2) 研究開発を行っていますか。

- 1.行っている (3)へ 2.行っていない (4)へ

(3) 上記(2)で「1.行っている」を選択された方にお聞きします。

研究開発形態について、あてはまる番号すべてに をしてください。

- 1.基礎研究 2.素材研究 3.応用研究 4.新製品開発 5.製品改良

下記の研究開発分野について、「a.すでに取り組まれている」分野と「b.技術・製品が活用できる」分野について、あてはまる番号すべてに をしてください。

- 1.バイオテクノロジー 2.ナノテクノロジー 3.環境 4.情報通信関連
 5.ロボットテクノロジー 6.新エネルギー・省エネルギー関連 7.医療・福祉関連

a.取り組んでいる	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
b.活用できる	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

研究開発体制について、該当するものひとつに をしてください。

- 1.社内に専門のセクションがある 2.専門のセクションはないが専任担当者がある
 3.他のセクションの担当者が兼務している 4.担当者は常設しておらず必要に応じて対応している
 5.その他 ()

(4) 年間の研究開発費は売上高に比較してどの程度かけておられますか。(売上高対比%)

該当するものひとつに をしてください。

- 1.5%未満 2.5~10%未満 3.10~15%未満 4.15~20%未満 5.20%以上 6.特に計上していない

(5) 企業としての「a.現在の強み」と「b.今後強化したいもの」を、強い・強化したいと思う順に3つまで選択してください。

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 企画力 | 技術力・製造(加工)精度 | 品質管理 |
| 生産効率 | 小ロット・試作対応 | 短納期対応(スピード) |
| 価格競争力 | 販売力・ブランド力 | 事務効率・資金効率 |
| 流通部門・サービス | ITの活用 | 熟練技能者がいる |
| 量産体制 | その他 () | |

	1位	2位	3位
a.現在の強み			
b.今後強化したいもの			

(6) 技術獲得経緯について、該当するものひとつに をしてください。

1. 自社開発
2. 親会社や発注先の指導
3. 取引先との共同開発
4. 大学との共同開発
5. 公的機関・研究所との共同開発
6. 異業種・同業種交流による共同開発
7. その他 ()

(7) 生産形態について、該当するものひとつに をしてください。

1. 自社製品主体の製造業
2. 一部自社製品を製造する下請け製造
3. 下請け製造(賃加工を除く)
4. 独立した加工専門業
5. 賃加工業

(8) 外注比率について、該当するものひとつに をして下さい。

1. 10%未満
2. 10%~30%未満
3. 30%~50%未満
4. 50%~70%未満
5. 70%~90%未満
6. 90%~100%未満
7. 100%

(9) 取引先の地域内訳を取引額の多い地域をそれぞれひとつ選択し、過去1年間の増減について をしてください。
また、取引先上位3社までご記入ください。

- 〔主な販売先： 〕〔販売先の増減： 増加 横ばい 減少 〕
〔販売先上位3社 〕
〔主な仕入先： 〕〔仕入先の増減： 増加 横ばい 減少 〕
〔仕入先上位3社 〕

【地域内訳】

- 京都市内の同一区 京都市内(同一区外) 京都市内を除く京都府下
京都府を除く近畿(兵庫・滋賀・大阪・奈良・和歌山) 関東 その他国内 海外

(10) 過去1年間の新規取引のきっかけについて該当するものひとつに をして下さい。

1. 取引先からの紹介
2. 営業開拓
3. ホームページなどのネット関連
4. 異業種交流
5. マスコミ等への露出から
6. 産業支援機関の紹介
7. 過去1年間で新規取引先はない

(11) 従業員数の推移は現在(平成15年7月)と比べてどのような状態ですか。

該当するものひとつにそれぞれ をして下さい。

- | | | | | | |
|-------------|-------|------|-----|------|-------|
| 10年前より(H5年) | 大幅に増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大幅に減少 |
| 5年前より(H10年) | 大幅に増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大幅に減少 |
| 1年前より(H14年) | 大幅に増加 | やや増加 | 横ばい | やや減少 | 大幅に減少 |

(12) 売上高について、昨年の同期に比べてどのような状態ですか。該当するものひとつに をして下さい。

1. 大幅に増加
2. やや増加
3. 横ばい
4. やや減少
5. 大幅に減少

(13) 上記(12)で「1.大幅に増加」もしくは「2.やや増加」を選択された方にお伺いします。

売上高の増加要因：主な要因をひとつ選択し、 をつけてください。

1. 新製品開発
2. 技術革新
3. 市場開拓
4. 納期の短縮
5. 事業の多角化
6. 製品の差別化
7. 営業力の強化
8. 景気変動
9. 物流の合理化
10. 製品の内製化
11. 生産設備の新設
12. 同業他社の廃業
13. 環境・高齢化等社会環境の変化
14. 生産拠点の海外移転
15. その他 ()

(14) 上記(12)で「4.やや減少」もしくは「5.大幅に減少」を選択された方にお伺いします。

売上高の減少要因：主な要因をひとつ選択し、 をつけてください

1. 製品開発の遅れ
2. 技術力の遅れ
3. 市場の縮小
4. 業務効率の低下
5. 競争激化
6. 景気変動
7. 親企業の移転
8. 生産設備の老朽化
9. 納品先からの値下げ要請
10. 仕入先からの値上げ要請
11. 発注企業の選別強化
12. 営業力不足
13. 人材の高齢化
14. その他 ()

(15) 過去3年以内に行った設備投資額の合計をお答え下さい。該当するものひとつに をして下さい。

- 1.この事業所において、合計1,000万円以上の設備投資を行った。
- 2.この事業所において、合計1,000万円未満の設備投資を行った。
- 3.設備投資は行ってない。

(16)環境への取り組み状況で、「a. ISO14000 シリーズ」、「b. K E S 」それぞれについて選択してください。

既に導入 現在準備中もしくは近い将来の導入を検討 長期的な目標としては考えている
よく分からない 関心がない

a. ISO14000 シリーズ	()	b. K E S	()
------------------	-----	----------	-----

K E S : 京都市が行う「環境マネジメントシステム」の規格のこと。

【 2 . 産学連携・ネットワークについて】

(1) 大学との連携の実績及び関心について該当するものひとつに をしてください。

<a.実績・関心>

- 1.現在、行っている
- 2.現在、行ってないが、過去には行ったことがある
- 3.行ってないが、関心がある
- 4.行っておらず、関心もない

上記 a 「1.現在、行っている」又は「2.現在、行ってないが、過去には行ったことがある」の場合はその分野と主な連携相手を選択してください。

<b.連携分野(主なものをひとつ)>

- 1.共同研究
- 2.委託研究
- 3.科学技術相談・指導
- 4.その他()

<c.主な相手(複数選択可)>

- 1.京都大学
- 2.京都工芸繊維大学
- 3.立命館大学
- 4.同志社大学
- 5.龍谷大学
- 6.京都産業大学
- 7.その他()

(2) 上記(1)で「1.現在、行っている」又は「2.現在、行ってないが、過去には行ったことがある」と答えられた方にお聞きします。産学連携活動を行った結果、成果がありましたか(現在行っている場合はその見込み)。成果があった場合はそのレベルで該当するものひとつに をして下さい。

1. 成果があった	→	<成果のレベル>	
		製品の開発に成功した	高
		技術レベルの向上, ノウハウの蓄積につながった	
		社員の育成につながった	成果
		人的ネットワークが広がった	
		関連情報の入手が容易になった	低
		その他()	
2. 成果がなかった			

(3) 上記(1)の a で「4.行っておらず、関心もない」と答えられた方にお聞きします。

産学連携活動を現在行ってない一番大きな理由は何ですか。該当するものひとつに をして下さい。

- 1.どこに行ったらいいかわからないから
- 2.敷居が高いから
- 3.費用がかかるから
- 4.求めている技術や研究内容と合致しなかったから
- 5.自社の技術を知られたくないから
- 6.必要性を感じないから
- 7.その他()

(4) 公設試験場との連携の実績及び関心について該当するものひとつに をしてください。

<a.実績・関心>

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1.現在, 行っている | 2.現在, 行っていないが, 過去には行ったことがある |
| 3.行っていないが, 関心がある | 4.行っておらず, 関心もない |

上記aで「1.現在, 行っている」又は「2.現在, 行っていないが, 過去には行ったことがある」の場合はその分野と主な連携相手を選択してください。

<b.連携分野(主なものをひとつ)>

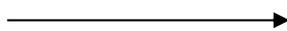
- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1.共同研究 | 2.技術相談 | 3.技術指導 | 4.依頼試験・検査 |
| 5.情報交流 | 6.その他() | | |

<c.主な相手(複数選択可)>

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1.工業技術センター(旧・工業試験場) | 2.繊維技術センター(旧・染織試験場) |
| 3.京都府中小企業総合センター | 4.その他() |

(5) 上記(4)で「1.現在, 行っている」又は「2.現在, 行っていないが, 過去には行ったことがある」と答えられた方にお聞きします。産官連携活動を行った結果, 成果がありましたか(現在行っている場合はその見込み)。成果があった場合はそのレベルで該当するものひとつに をして下さい。

1. 成果があった



<成果のレベル>

製品の開発に成功した	高
技術レベルの向上, ノウハウの蓄積につながった	
社員の育成につながった	成果
人的ネットワークが広がった	
関連情報の入手が容易になった	
その他()	低

2. 成果がなかった

(6) 上記(4)のaで「4.行っておらず, 関心もない」と答えられた方にお聞きします。

産官連携活動を現在行っていない一番大きな理由はなんですか。該当するものひとつに をして下さい。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1.どこに行ったらいいかわからないから | 2.敷居が高いから |
| 3.費用がかかるから | 4.求めていた技術や研究内容と合致しなかったから |
| 5.自社の技術を知られたくないから | 6.必要性を感じないから |
| 7.その他() | |

(7) 企業間交流(同業種・異業種)の実績及び関心について該当する番号を選択してください。

<a.実績・関心>

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1.現在, 行っている | 2.現在, 行っていないが, 過去には行ったことがある |
| 3.行っていないが, 関心がある | 4.行っておらず, 関心もない |

上記aで「1.現在, 行っている」又は「2.現在, 行っていないが, 過去には行ったことがある」の場合は主な交流会や団体名をお書きください。

<b.主な交流会や団体名>(名称:)

(8) 上記(7)で「1.現在, 行っている」又は「2.現在, 行っていないが, 過去には行ったことがある」と答えられた方にお聞きします。そのグループや仲間では, どのような活動を行っていますか(行っていましたか)。また, どのような活動をしたいですか。該当するもの3つまで をしてください。

- | | | |
|-----------------------|----------------|--------------|
| 1.業界, 製品, 技術等に関する情報交換 | 2.共同受注 | 3.機械・人材の融通 |
| 4.新製品の共同研究・開発 | 5.共同企画・設計・デザイン | 6.共同製造 |
| 7.共同販売 | 8.共同での人材育成 | 9.共同でのイベント実施 |
| 10.共同PR | 11.その他() | |

(9) 上記(7)で「1.現在，行っている」又は「2.現在，行っていないが，過去には行ったことがある」と答えられた方にお聞きします。そのグループや仲間による活動を通じて，成果がありましたか。成果があった場合はそのレベルで該当するものひとつに をして下さい。

1. 成果があった

2. 成果がなかった

<成果のレベル>	
売上げの増加	高
製品の開発に成功した	
技術レベルの向上，ノウハウの蓄積につながった	成果
社員の育成につながった	
人的ネットワークが広がった	低
関連情報の入手が容易になった	
その他()	

(10) 同業種または異業種との間でのグループ活動を行う場合，どのような点が課題となっていますか。該当するものひとつに をして下さい。

- 1.活動資金の確保 2.活動に関わる人材の確保 3.活動時間の確保 4.販路の開拓
5.経営意識の多様性 6.リーダー及び運営体制の確保 7.構成メンバー間での利害調整
8.その他()

(11) 上記(7)の a で「4.行っておらず，関心もない」と答えられた方にお聞きします。同業種・または異業種活動を現在行っていない一番大きな理由は何ですか。該当するものひとつに をして下さい。

- 1.どこに行ったらいいかわからないから 2.敷居が高いから
3.費用がかかるから 4.求めているものと合致しなかったから
5.自社の技術を知られたくないから 6.必要性を感じないから
7.その他()

【 3 . 海外事業展開への対応状況 】

(1) 海外の企業と直接の，販売や提携などの業務上の交流がありますか。

- 1.はい 2.いいえ
「はい」の場合，交流を行っている企業の所在する国名を一つ()

(2) 海外に工場などの拠点進出をされていますか。(合併なども含む)

- 1.はい 2.いいえ (3)へ
a.「はい」の場合，該当する主な地域ひとつに をつけて下さい。
1.中国 2.韓国 3.東南アジア 4.アメリカ 5.ヨーロッパ 6.中東 7.その他()
b.「はい」の場合，該当する主な部門ひとつに をつけて下さい。
1.工場 2.研究施設 3.営業所 4.配送拠点 5.支店 6.本社 7.その他()

(3) 進出していない場合，今後5年の間に意向がありますか。

- 1.はい 2.いいえ
a.「はい」の場合，該当する地域の主なものひとつに をつけて下さい。
1.中国 2.韓国 3.東南アジア 4.アメリカ 5.ヨーロッパ 6.中東 7.その他()
b.海外進出にあたって，構築する拠点機能を次の中から選んで，該当するものひとつに をしてください。
1.本社(経営) 2.製造 3.営業 4.その他()

(4) 上記(2)または(3)で「はい」と答えられた方にお聞きします。その海外進出(予定も含む)の理由について，該当するものひとつに をしてください。

- 1.優秀な技術者や労働者の獲得 2.安価な技術者や労働者の獲得 3.市場開拓
4.親会社・発注先の進出に同伴 5.その他()

- (5) 上記(2)または(3)で「はい」と答えられた方にお聞きします。
今後の予定として、国内にはどの部門を残す予定ですか、該当するものすべてに をしてください。
1. 本社機能
 2. 研究開発部門
 3. 国内向け生産設備
 4. 試作応用研究部門
 5. 工場
 6. 国内には残さない
 7. その他()

- (6) 上記(2), (3)で「はい」と答えられた方にお聞きします。新製品・新分野を育てていくためには、生産ラインと研究開発の分離は可能ですか。該当するものひとつに をしてください。
1. 可能である
 2. 基礎研究だけなら可能
 3. 不可能である

【4. 立地・新産業拠点について】

- (1) 京都市内に立地していることのメリットは以下のどれですか。

主なもの該当するもの3つまで をしてください。

1. 原材料の調達が容易
2. 受注先が近い
3. 外注先が近い
4. 試作に強い業者がいる
5. 企業間の情報交換
6. 同業者間での仕事の融通
7. 異業種間での仕事の融通
8. 交通の便が良い
9. 対事業所サービス業の充実
10. 産業支援機関が充実
11. 研究機能がある
12. 情報通信基盤の充実
13. 事業用地の確保が容易
14. 従業員の確保が容易
15. 長年京都でやっけていてなじみが多い
16. その他()

- (2) 京都市内に立地していることのデメリットは以下のどれですか。

該当する主なものひとつに をしてください。

1. 原材料の調達が困難
2. 受注先から遠い
3. 外注したい加工技術をもつ業者がない
4. 試作に強い業者がない
5. 地価・家賃が高い
6. 周辺の住宅地化
7. 事業用地の不足
8. 土地利用に関する規制が厳しい
9. 公害規制
10. 産業支援機関が不十分
11. 高い地方税
12. 交通が不便
13. 欲しい情報が入手できない
14. 情報通信基盤の脆弱性
15. 競合先の多さ
16. 従業員の確保が困難
17. その他()

- (3) 今後の生産拠点について、どのようにお考えですか。該当するものひとつに をしてください。

1. 現在地または市内で規模拡張する
2. 現在地または市内で規模は現状維持
3. 現在地または市内で規模縮小する
4. 市外に移転する
5. 業種転換の予定
6. 廃業する
7. 未定・分からない

京都市では、京都大学桂キャンパス隣接地区を「桂イノベーションパーク」と位置付け、産学公連携による新産業の振興拠点として整備する計画を持っています。また、南部（高度集積）地区を京都の活力を担う中核拠点と位置付け、ここに産業支援等複合施設（85メートルの高層建築）を整備する試案を発表しています。こうした施設についてお伺いします。

- (4) 桂イノベーションパークについて、該当するものひとつに をしてください。

1. 説明を聞いてみたい
2. 関心がある
3. 関心がない
4. 知らない

- (5) 産業支援等複合施設（85メートルの高層建築）について、該当するものひとつに をしてください。

1. 説明を聞いてみたい
2. 関心がある
3. 関心がない
4. 知らない

